

第19回 岩美町・沖縄県国頭村児童交流



～大切なことを数え切れない程学びました～

10/14～17



首里城見学

岩美町と国頭村は、昭和60年の「鳥取わかとり国体」、昭和62年の「沖縄海邦国体」で双方が重量挙げの競技会場となったことをきっかけとして児童交流を始めました。

この交流では、互いに沖縄と鳥取を訪問し、児童間の交流を深めるとともに、異なる気候風土や食文化・くらし・伝統を学び、知見を広めることにより、次の時代を担う子どもたちの育成を図っています。

今回で19回目となる児童交流は、10月14日（火）から10月17日（金）の4日間で行われ、町内3小学校6年生児童16名・引率7名の23名の団員が訪問しました。

各小学校児童(代表)の感想

「沖縄での出会い」

岩美北小学校6年

滝尾華乃子

私は、岩美町沖縄交流団の一員として、沖縄県に行きました。

私は、沖縄県でいろいろなことを学んできました。その中でも、一番心に残ったことは、ホームステイです。会うまでは、どんな人かなあ、と楽しみにしていました。出会ってみると、みんなとにかく明るく、ニコニコしていました。また、みんなが優しくしてくれました。そのおかげで、私の緊張もほぐれ、すぐに仲良くなることができました。笑顔ひとつで、人はつながりあることを感じた出会いです。

この出会いを、いつまでも大切にしていきたいです。



「思い出の沖縄交流」

岩美西小学校6年

生越 雅貴

ぼくは、沖縄交流で大切な事を数え切れないほど学びました。

例えば、本当は絶対あつてはいけなない悲しい沖縄戦のことや、これから守つていかなければいけないすばらしい海、家族の大切さ、他にも学んだことは、たくさんあります。

こんな、すばらしい経験ができたのも、いろいろな人が助けてくださったからです。僕たちに協力してくださった皆様ありがとうございます。

ぼくは、美ら海水族館が、心に残っています。ジンベイザメが大きな口をあけて、ガバーツとエサを水ごと飲んだときの感動は忘れません。

そして、ホームステイの家族にも、やさしくしていただき、とてもいい思い出が作れました。

